

三心を磨く

学校だより No. 1

令和3年4月6日(火)発行

須坂市立東中学校

文責：嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

令和3年度 須坂市立東中学校 入学式・始業式

式 辞

日の光にまぶしさが増し、万物が躍動する春が今年も巡ってきました。このよき日に、泉PTA会長様をご来賓に迎え、新入生保護者の皆様方のご臨席を賜り、このように入学式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

55名の新入生の皆さん、東中学校へのご入学おめでとうございます。皆さんの入学を、二・三年生、教職員一同心待ちにしていました。

多くの方に見守られながら、新しい生活・新たな出会いへの期待と不安を胸に入場してくる皆さんは、初々しさの中にも凜々しさを感じさせる姿でした。皆さんの期待が一層大きなものになり、安心して楽しい中学校生活が送れるように、先生方も上級生も精一杯応援していきたいと思えます。

さて、「心のスイッチ」という詩を紹介します。

人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見ていても何も見えない。
人間の耳は、ふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても何も聞こえない。
同じように先生の話も聞いていても、ちっとも聞こえてこない人がいる。
本当にそうだと、腹の底まで聞く人もいる。
「よしやるぞ！」と心のスイッチが入ると、頭も体もすばらしいはたらきをしはじめる。
今まで、みんなから目立たない子だと思われていた子でも、心にスイッチが入ると、急に素晴らしい子になる。
心のスイッチは、人間をつまらなくもし、素晴らしくもしていくんだ。
電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

皆さんがこれから過ごす三年間は、心身ともに大きく成長し、大人になる準備をする、人生の中で最も大事な時期ですが、あっという間に過ぎてしまいます。

そこで、この貴重な三年間を有意義なものとするために、本校の学校目標「三心自立」に重ね、三つの「心のスイッチ」について話します。

一つ目は、「学ぶ心」のスイッチです。十二月の体験授業の時の講話でも触れましたが、皆さんが生きるこれからの社会は、新しい知識や情報、技術によって大きく変化していく社会です。そしてその変化はすでに始まっています。大きく変化し続ける社会の中で求められるのは、変化に対応する能力であり、正解が一つではない課題を解決していく力です。そのためには、生涯に渡って学び続けることが必要になります。皆さんはそのための基礎を身につけるために「学ぶ心」のスイッチを入れなくてはならないのです。自分を高め、自立した大人になるための第一歩です。

二つ目は、「思いやる心」のスイッチです。新入生の皆さんはもちろん、東中学校の生徒には、一人として同じ人はいません。足の速い人もいれば、遅い人もいます。テストで高い得点をとる人もいれば、素晴らしい作品を仕上げる人もいます。興味や関心、家族構成、悩んでいること等、どれをとっても一人として同じ人はいないのです。共通するのは、一人一人が、自分らしさという異なる色の命の光を持ったかけがえのない存在だということです。しかし、たった一人ではその光を放つことはできません。自分らしさという光を輝かせるためには、他者の存在が必要なのです。だからこそ、互いを尊重し合うことを通して、成長することができるのです。そのために必要なのが「思いやる心」のスイッチです。

思いやりは人の心を温かくし、生きる勇気を引き出してくれます。一人一人の「思いやる心」のスイッチが入っていれば、いじめや周りに迷惑をかける行為はなくなるものと私は信じています。皆さんは将来、今よりもずっとたくさんの、多様な考えを持った人たちと出会い、共に生きていくことになります。自分を輝かせ、よりよい人間関係づくりの基礎を身につけるために「思いやる心」のスイッチをいつもONにしてください。

三つ目は、「鍛える心」のスイッチです。夢や志を持って何かを成し遂げようとするとき、失敗してもくじけずに挑戦を続け、乗り越えていく「たくましく」「しなやか」な心と体が大切になります。植物にたとえるなら、根っ子の部分を深く広く太く張り巡らせるということです。地面の中にある根っ子は、目には見えませんが、そこがしっかりとしていれば、困難や試練に耐え、大きく成長することができるのです。中学校生活のあらゆる場面で自分の心と体を鍛え、将来を支える土台をしっかりと作りましょう。

「学ぶ心・思いやる心・鍛える心」この三つの「心のスイッチ」を入れ、日々自立に向かって成長していく皆さんの姿を期待しています。二・三年生の皆さんも、自分は三つの「心のスイッチ」がしっかり入っているのか改めて振り返るとともに、言葉や行動でその具体的な姿を示し、一年生を導いてください。

新入生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校三年間は心身の成長がめざましい反面、不安定になりやすい時期でもあります。しかし、どの生徒も素晴らしい可能性を持ったかけがえのない存在であり、地域の宝です。生徒のよさや可能性を最大限に伸ばすのが、保護者や教職員の責務と考えます。そのために、これから三年間、学校と家庭との信頼・連携を一層密にして進めることができますようお願い申し上げます。

終わりに、55名の新入生にとって、本校での三年間がかげがえのない学びの時となることを願い、式辞と致します。

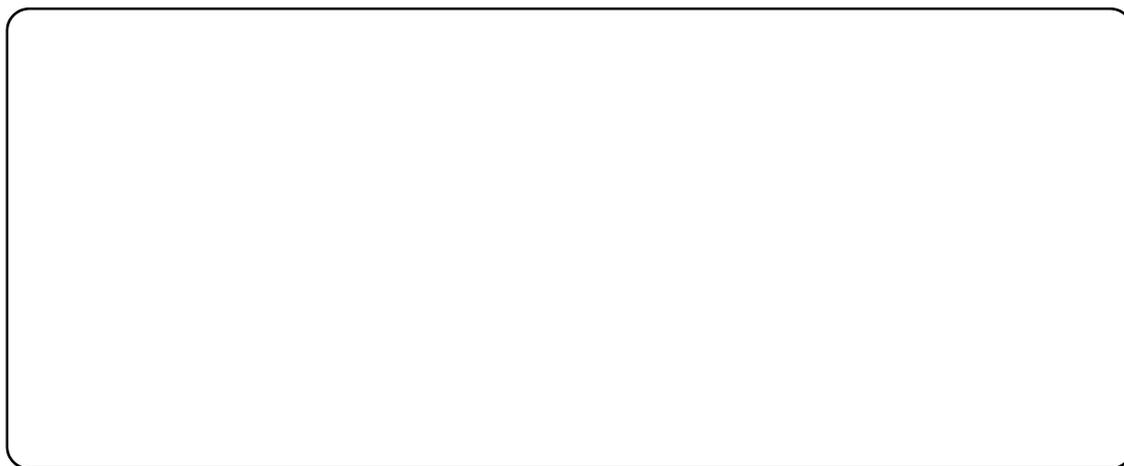
令和3年4月6日

須坂市立東中学校長 島田 浩幸

本年度転入職員の紹介 ～よろしくお願ひします！～

★令和3年度のスタートにあたり、以下の職員を新たに本校に迎えました。

保護者・地域の皆さまには、これまで同様に温かいご支援をいただきたいと思ひます。



入学式・始業式に先立って「タブレット貸与式」を行いました。

須坂市教育委員会より、GIGAスクール構想にともない、1人に1台タブレット型パソコンを貸し出すにあたり、「貸与式」を行いました。

1人1人に貸し出すタブレット型パソコンは、鉛筆やノート、教科書と同じように、学習に役立つ道具として使っただけいただけたらと思ひます。

「自分専用」のパソコンを使い、どんな授業になるのか、家庭学習はどう変わるのか、とても楽しみだと思ひますが、同時に、使用のルールやマナーも理解し、それらを守る力を身に付けてください。

正しい使い方を身に付け、皆さんの学習に役立つ道具として、大切に使っただけいましょう。

令和3年度 東中学校職員組織

1 職員組織

校長		事務主任	
教頭		養護教諭	
教務主任		特別支援教育コーディネーター	
副教務主任		教育相談コーディネーター	
生徒指導主事		スクールカウンセラー	
進路指導		衛生管理者	
研究主任		セクハラ等相談窓口	
学びの改革実践リーダー		栄養教諭	
保健主事		栄養教諭	
市職員	不登校児童生徒支援員		
	図書館司書員・心の教室相談員		
	教員補助員		
	学校事務員		
	管理技術員		
	外国籍児童生徒支援員		
	部活動指導員		
A L T			
産 育 休			

2 学年・学級担任 (○学年主任)

学年	組	氏名	教科	氏名	教科等
1学年	1		英語		国語
	2		保健体育・国語		数学・技術
	小中連携				
2学年	1		数学		理科・技術
	2		音楽・国語		社会
3学年	1		国語		理科
	2		技術・家庭		英語
			美術		
せせらぎ	自・情障		美術		
市講師	常勤		国語		
	非常勤		社会		保健体育

今年度より、「二人担任制」を取り入れました。生徒のためのよりきめ細やかな指導を実現するために、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者懇談会・家庭訪問について

本校では、本年度も学校職員と保護者の方との懇談の機会を重ねてもつことで、子どもの成長をともに支えていきたいと考えます。4月19日～22日に1学年は家庭訪問、2、3学年は、個別懇談会を行います。また、夏休みに3学年全家庭、1・2学年はご希望のあるご家庭との個別懇談会、12月に全学年で個別懇談会を予定しています。よろしくお願いいたします。



東中学校 保護者の皆様へ

令和3年度から中学校の 「新学習指導要領」が 全面実施されます。

東中学校では、令和3年度から以下の点について取り組んでいきます。

1人1台タブレットの活用（GIGAスクール構想）

- ◇Google classroom をプラットフォームにした授業実践
- ◇単元テストの CBT 化

学習評価の見直し（指導と評価の一体化）

- ◇内容のまとめり毎の観点別評価
- ◇定期テストから単元テストでの評価へ

生きる力 学びの、その先へ

何を理解しているか何ができるか
理解していること・できることをどう使うか
どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

～夢や志をもち Society5.0 を豊かにたくましく生きる生徒の育成～
これまでの実践と ICT のベストミックスを図り、生徒・教師の力を最大限に
引き出し、21世紀型能力を育む「学び合う学校」を目指します。

知識や情報を活用する能力・多くの人とよりよい人間関係を築く能力・自立的に行動する能力

須坂市立東中学校 学校目標

「学ぶ心」「思いやる心」「鍛える心」を磨き、自立する

文自心三